

平成20年度社会人講座の実施案及び科目募集について

平成19年12月20日

1 主旨

県内高等教育機関の教育研究資源を地域に開放する取組の一環として、社会人を対象に実学から教養まで質の高い学びの機会を提供する。

コンセプトは「仕事帰りに、休日に、学べる」講座

2 実施主体

大学コンソーシアムあきた

3 講座の概要

大学コンソーシアムあきた加盟大学等の教員が、社会人向けの企画講座を提供する。

- (1) 対象 一般市民（原則として受講者への資格要件を設けない）
- (2) 受講定員 各開講科目の担当講師と協議のうえ設定する。
- (3) 会場 カレッジプラザ（秋田市中通2丁目・明德館ビル2階）
- (4) 開講時期 年度内に随時とする。
- (5) 開講回数 授業は1回90分を基本単位とし、1科目につき3回以上の授業を実施すること。なお、授業形式は講義の他、演習・ゼミナール等も可。
- (6) 開講時間 平日は午後6時～午後8時30分の時間帯、土日祝日は午前10時～午後6時の時間帯をそれぞれ基本とする。なお、科目の対象者層や内容を考慮して、集中講義形式とすることも可とする。
- (7) 科目内容 既存の生涯学習サービスとの一定の差別化を図ることを主旨に、大きく「実学系」（「役に立つ学び」を重視）、「教養系」（「学びの楽しみ」を重視）という2つのタイプに特徴化した科目提供を行う。

実学系 ... ビジネス、社会活動、暮らしに役立つ学びを目指す

（特に提供を目指す科目）

キーワード **企業経営、ビジネス、資格取得、子育て、地域活動、健康**

平成19年度開講科目例

「経営とデザイン」(企業経営・商品開発における「デザイン」の活用法)

「経済がわかる ビジネスに活かす! 経済記事の読み方」

(日々の経済情報を仕事・生活に役立てるための基礎知識)

「児童文化と教育・保育」(絵本や紙芝居の幼児教育・保育への活用法)

「元気に長生き健康生活 - メタボとお酒とアロマセラピー - 」

(健康で快適な生活を送るための保健医療知識)

教養系 ... 文化、歴史、芸術、言語など楽しい学びを目指す

(特に提供を目指す科目)

キーワード **異文化理解、美術鑑賞、語学、こころ**

平成19年度開講科目例

「インドネシアのことばと文化」(歴史・文化の紹介を交えたインドネシア言入門)

「シルクロードの仏教美術」(各地の仏教遺跡から読み解く仏教美術史)

「“日本人のための”英語講座」(日本人が陥りやすい間違いに着目した英語発音レッスン)

「生と死を考える」(生命の尊重をテーマに、講師・受講者が語り合うワークショップ)

(8) 評価及び単位等の取扱い

原則として成績評価は実施しない。ただし必要に応じて到達度の確認を行うことは妨げない。なお、修了証等の交付は行わない。

(9) その他

授業の実施に必要な資料の複写、授業の補助、機材の貸し出し等についてはカレッジプラザにおいて対応する。また、受講者に対するアンケート調査を行い、満足度の把握など今後の講座の企画に活用する。

4 募集等事務

この講座の実施に係る受講者募集・申込受付事務は、会場となるカレッジプラザにおいて行う。

講座PRの手法は、コンソーシアムHPへの掲載、報道機関への講座情報提供(投げ込み)、関係機関等の広報媒体、講座内容により想定される対象者・団体への周知、等によることとする。

5 費用負担

- (1) 受講料 各科目毎に授業回数に400円を乗じた金額を受講料として受講者から徴収し、大学コンソーシアムあきたの収入とする（教材費等実費が必要となる場合は別途受講者から徴収する。）
- (2) 講師謝金 授業科目の担当講師には、授業1回(90分)につき10,000円を大学コンソーシアムあきたが支給する。
- (3) 会場費等 カレッジプラザに係る経費は秋田県が負担する。

6 今後の進め方

平成20年度の社会人講座の授業科目については次のとおり募集します。

(1) 提出期限 平成20年 2月29日(金)

上記期限に限らず、新年度内でも随時対応する予定ですので、その際にご相談ください。

- (2) 提出方法 各構成機関において提供科目をとりまとめのうえ、別紙の授業科目計画書によりFAX又は電子メールによりご提出ください（なお、詳細が未決定の科目については、科目名、担当講師名及び概ねの内容と開講時期を記載してください。）

(3) 提出先 大学コンソーシアムあきた企画部 佐藤

〒010-0001 秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階カレッジプラザ

電話：018-825-5455 FAX：018-836-5388

e-mail：satou-akira-1115@pref.akita.lg.jp

(4) その他

複数大学等の教員による「連携科目」について

特定のテーマ設定のもと、複数大学等の教員が各授業を分担して担当する科目（以下、「連携科目」という。）も開講できることとします。連携科目の開講を希望する場合は、各大学等（教員）間により調整のうえで授業計画を決定してください。なお、科目提供にあたっては参加講師のうちから主担当講師を決定のうえ、主担当講師の所属大学等よりご提出ください。

授業科目計画書

授業科目名	
担当講師	(所属・職氏名を記入してください。)
受講対象者	(想定する対象者層を記入してください。)
履修要件	(受講者に望む基礎的知識などを記入してください。)
授業の形式	(講義、演習、ゼミ形式など予定する授業の形式を記入してください。)
<p>科目タイプ： 実学系 教養系</p> <p>(いずれかのボックスにチェックしてください。タイプの分類は概ね下記のとおりとします。)</p> <ul style="list-style-type: none">・実学系...ビジネス、社会活動、暮らしに役立つ実用性の高い内容・教養系...文化、芸術、語学など教養的知識を中心に楽しく学べる内容) <p>授業の目的：</p> <p>(授業の主旨について、できるだけ「何を・誰に・何のために・教えるか」を明確に記入してください。)</p> <p>授業の内容：</p> <p>(開講時期、日程や各回の内容など授業計画を具体的に記入してください。)</p> <p>教科書・参考文献：</p> <p>(授業の必須のテキストがある場合に記入してください。)</p> <p>その他：</p> <p>(上記の他特記事項がある場合に記入してください。)</p>	